

PRESS RELEASE

2012年1月31日
株式会社三菱総合研究所

2011年10-12月期 GDP 速報（1次QE）予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）は、内閣府より2月13日（月）に公表予定の2011年10-12月期のGDP速報（1次QE）について予測を行った。

2011年10-12月期	実質GDP	季節調整済前期比	▲0.4%	（年率 ▲1.6%）
	名目GDP	季節調整済前期比	▲1.1%	（年率 ▲4.5%）

2011年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.4%（年率▲1.6%）と予想する。震災からの復旧が夏場で一服し、海外経済の減速などを背景に景気が踊り場局面に入っていたことを裏付ける結果となろう。

10-12月期のマイナス成長に大きく寄与するとみられるのは外需である。輸出が欧州債務危機、タイの洪水、円高の定着などの影響から2四半期ぶりに減少に転じる一方、輸入は燃料輸入の増加から7-9月期に続きプラスの伸びが見込まれる。

内需は、消費、設備投資ともに小幅ながらプラスの伸びを見込む。在庫はタイの洪水による部品供給不足もあり、製品在庫を中心に減少を予想する。また、公的部門では、がれき処理などが含まれる政府最終消費の増加が見込まれるものの、公的固定資本形成の本格的な増加は12年1-3月期以降とみられ、10-12月期は2四半期連続の減少を予想する。

表 2011年10-12月期 GDP 速報 予測結果

単位：断りがない限り 季調済前期比（%）		2011年			
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 予測
実質GDP		▲1.7 (▲6.6)	▲0.5 (▲2.0)	1.4 (5.6)	▲0.4 (▲1.6)
	季調済前期比年率				
民間最終消費		▲1.2	0.3	0.7	0.1
民間住宅投資		1.8	▲2.0	5.2	▲0.4
民間企業設備投資		▲0.9	▲0.5	▲0.4	0.1
民間在庫	寄与度	▲0.7	0.0	0.3	▲0.2
政府最終消費		0.5	0.7	0.2	1.0
公的固定資本形成		▲1.9	6.7	▲1.0	▲0.9
財・サービス輸出		0.0	▲5.9	7.3	▲2.3
財・サービス輸入		1.1	0.4	3.5	0.8
内需	寄与度	▲1.5	0.5	0.8	0.1
民需	寄与度	▲1.5	0.0	0.8	▲0.1
公需	寄与度	0.0	0.5	0.0	0.1
外需	寄与度	▲0.2	▲1.0	0.6	▲0.5
名目GDP		▲1.7 (▲6.8)	▲1.6 (▲6.1)	1.2 (5.0)	▲1.1 (▲4.5)
	季調済前期比年率				
GDPデフレーター	前年同期比	▲1.9	▲2.4	▲2.2	▲2.0
国内需要デフレーター	前年同期比	▲1.0	▲1.1	▲0.7	▲0.6

注：既発表の実績値についても季節調整等に伴う遡及改定が行われる。
表中の実績値は、2011年7-9月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。
資料：実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所。

＜本件に関するお問合せ先＞

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号
政策・経済研究センター 森重彰浩 電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：morisige@mri.co.jp
広報・IR部 笠田・武居 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp
尚、本資料は、内閣府記者クラブに配布致します。